

22

職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

指標の意義

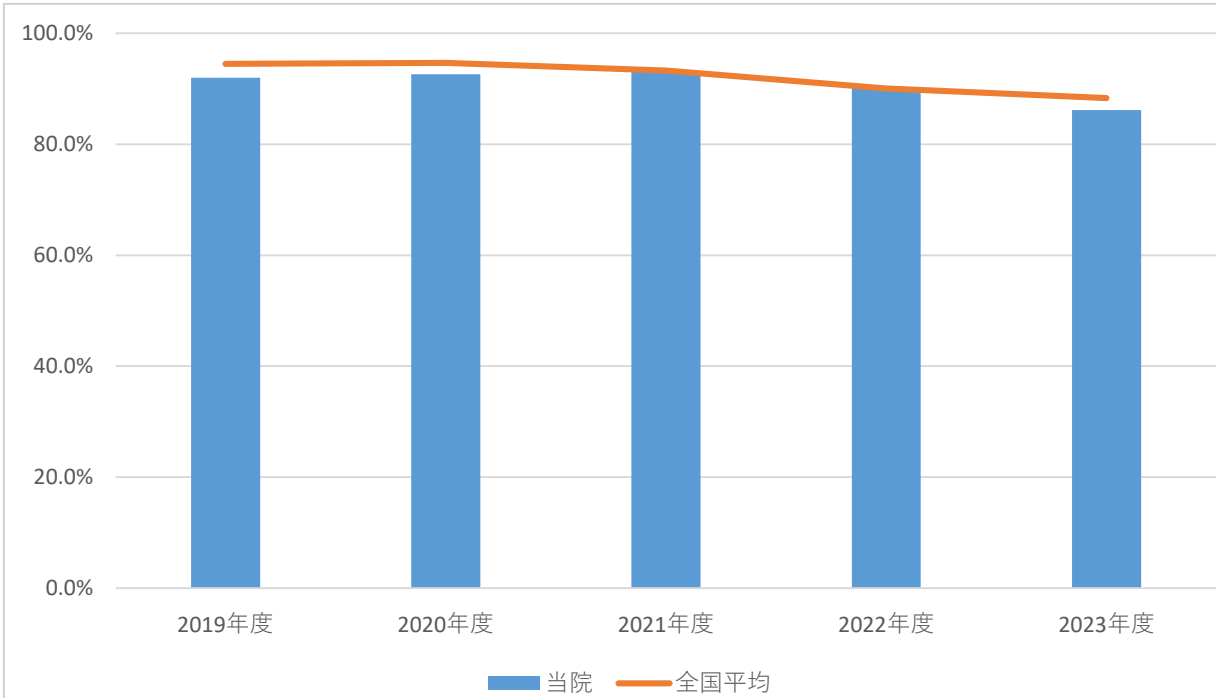
医療機関を受診する患者は、免疫力が低下していることが多く、病院職員からの感染を防止する必要があります。接種率が高い場合には、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できます。

定義

分母：職員数
分子：インフルエンザワクチンを予防接種した職員数

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分母値	746	784	790	784	802
分子値	686	726	736	708	691
数値	92.0%	92.6%	93.2%	90.3%	86.2%



指標の説明

より高い値が望ましいとされます。
全国平均よりもやや低い状況です。直接患者さんに接する業務に従事している職員は、ほぼ全員予防接種を行いました。今年度も必要な職員は接種するよう周知徹底していきます。

職員の非喫煙率

指標の意義

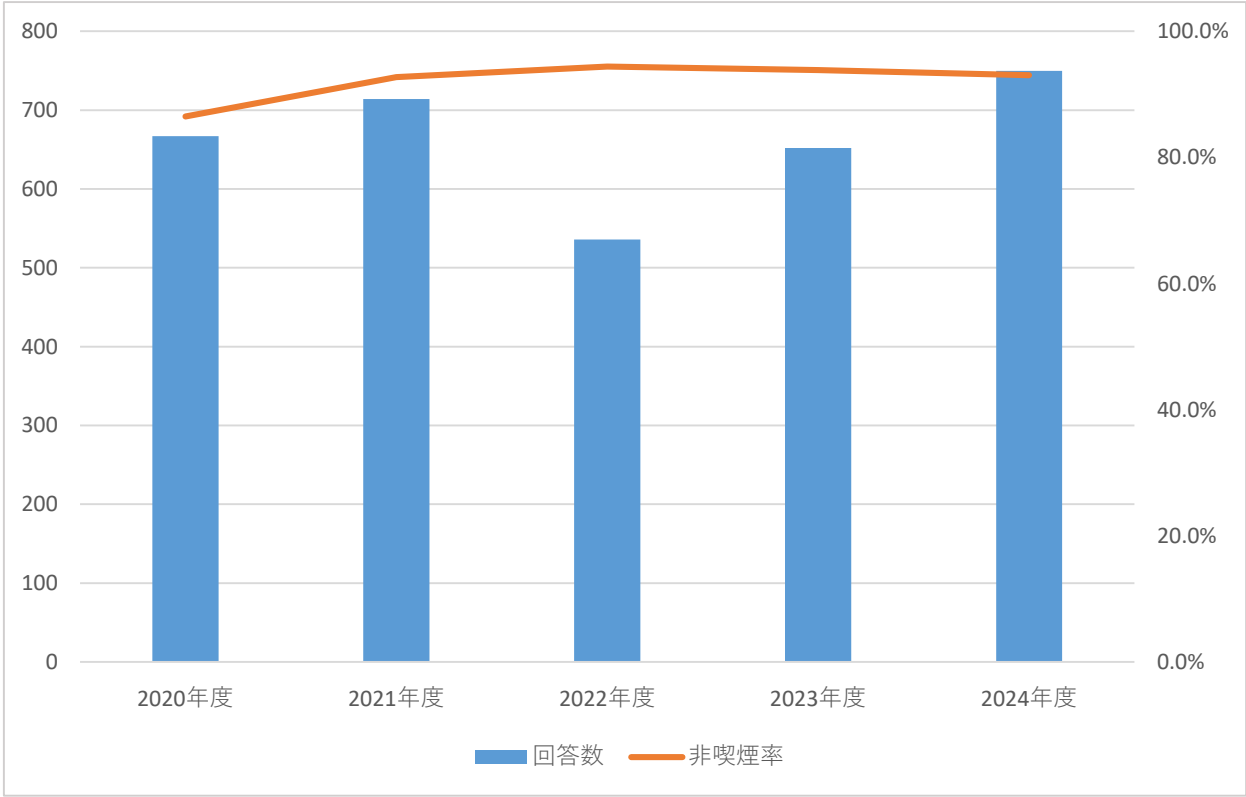
職員の非喫煙率とは、職場において喫煙習慣のない職員の割合を示す指標です。安全衛生委員会において、毎年職員の喫煙状況調査(任意アンケート)を実施して集計しております。職場の健康促進や環境改善の評価に役立てています。

定義

分母 :職員の喫煙状況調査(任意アンケート)総数
分子：喫煙の有無の設問で、無と回答した職員数

当院の実績

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
アンケート回答数	667	714	536	652	750
非喫煙率	86.5%	92.7%	94.4%	93.9%	93.1%



指標の説明

より高い値が望ましいとされます。
敷地内禁煙であることから、今後も非喫煙率を高めることを目指しています。また、安全衛生委員会より禁煙外来の利用を促し健康啓発を行っております。